

報 告

1998年度翔友会総会

平成10年2月22日(日)

於：同志社新島会館

次 第

司 会 松岡 慎二

- 一. 開会の辞 幹 事 橋本 元雄
- 二. 会長挨拶 翔友会会長 小野 哲
- 三. 部長挨拶 航空部部长 坂口 一彦
- 四. 議 事 議 事 進 行 南村 清治

- 1. 本年度新入会員紹介 幹 事 赤瀬 正洋
- 2. 航空部 今年度全国大会について 今宿 昇一
- 1997年度活動報告 OB 担当 藤村 武志
- 会計報告 会 計 小谷名保恵
- 3. 翔友会 1997年度活動報告 副 会 長 政 志 郎
- 会計報告 会 計 西山 靖郎
- 1998年度活動方針(案) 幹 事 長 南村 清治
- 予 算(案) “ ”

- 4. 現役部員への財政援助について 幹 事 窪田 昌三

現役部員から、部員数激減による財政悪化に対し、翔友会に経済的援助の要請があり、翔友会として、部員が20名を回復する迄の間、財政援助を行うことに決定。本年度は、翔友会奨励基金の中から50万円を現役会計に補助することに決定した。

- 5. 会誌13号「翔友」発刊について 幹 事 窪田 昌三
- 6. スポーツユニオン関係 幹 事 渡辺 洋一
- 大阪同志社クラブについて

- 五. 閉会の辞 幹 事 牧野鐵五郎

以 上

翔友会会計報告書

1997 1/1～1997 12/31

収入の部		支出の部	
前期より繰越	1,400,012	事務通信費	397,491
会費(109名)	1,100,000	全国大会援助	200,000
OB総会会費(18名)	180,000	同立戦広告費	50,340
利息	758	翔友発行費	483,000
		OB総会費	269,580
		スポーツユニオン	30,000
		慶弔費	2,026
合計	2,680,770		1,432,437
		次期繰越金	1,248,333
		定期預金積立	2,350,352
内訳			
現金	88,440		
普通預金	949,908		
郵便振替	209,985		

小野 哲^印
 会計 西山 靖 郎^印

翔友会財産目録

西山会計管理	定期預金(三和銀行京都支店)	2,350,352	
	〃 (〃)	1,000,000	小野基金
	現金	88,440	繰り越し金
	普通預金(三和銀行京都支店)	949,908	〃
	郵便貯金	209,985	〃
	合計	4,598,685	
速見幹事管理	定期預金(三和銀行中野支店)	1,378,169	奨励基金
	普通預金(〃)	546,292	
	合計	1,924,461	
三田村幹事管理	定期預金(富士銀行茨木支店)	1,782,294	60周年余金
	現金	8,309,522	
	合計	1,786,376	
総額		8,309,522	

(平成9年12月31日現在)

1998年度翔友会行事予定

1998年度翔友会予算(案)

1998年1月1日～1998年12月31日

翔友会	航空部	スポーツユニオン
1月		31日 総会、祝勝会(パークホテル)
2月15日 幹事会 (アポロモータープール)		
22日 総会 (新島会館)		
3月	8日 全国大会 (妻沼)	
	18日 幹部交替式 (学生会館)	
	追コン (遊心)	
4月 ユニオン分担金支払い 未定 講演会(未定)	22日～27日 立命合同合宿 (木曾川)	
5月17日 幹事会 (アポロモータープール)		9日 ゴルフ大会 (亀岡)
30日 会費依頼発送作業		
6月未定 翔友会ゴルフ大会(未定)	3日～10日 南山自家用 (木曾川)	6日 総会 (今出川)
	合同合宿	
7月	29日～8月3日 名工合同合宿 (木曾川)	
8月30日 幹事会 (アポロモータープール)		
9月	7日～11日 関大合同合宿 (福井)	
10月	29日～11月4日 同立戦(福井)	17日 全同志社人 ゴルフ会 (亀岡)
11月8日 幹事会 (アポロモータープール)	26日～12月1日 神大合同合宿 (木曾川)	
23日 会費督促状 発送作業		
12月未定 名古屋支部 ゴルフ会	2月7日～12日 (木曾川)	12日 連絡協議会

(単位：円)

収入の部		支出の部	
前期繰り越し	1,248,833	翔友製作費	450,000
会費	1,350,000	〃 発送費	150,000
総会会費	200,000	カレンダー購入費	135,000
		広告費	50,000
		慶弔費	50,000
		通信費	450,000
		会議費	50,000
		ユニオン分担金	30,000
		総会費	300,000
		全国大会援助	300,000
		雑費	50,000
		予備費	783,333
合計	2,798,333		2,798,333

(平成10年2月22日現在)

航空部活動報告 (平成9年4月～平成10年2月)

平成9年

4月1日～6日	新入生勧誘期間 6名入部	於：田辺校地
6月3日～10日	同志社・南山自家用合宿(総発数264発)	於：木曾川滑空場
7月12日	ASK23(JA2354)耐空検査	於：田辺格納庫
7月19日	平成8年翔友会総会	於：新島会館
7月29日～8月3日	同志社・関大・名工合宿(総発数62発)	於：木曾川滑空場
9月6日	Ka6E(JA2096)耐空検査	於：田辺格納庫
9月8日～12日	同志社・関大合宿(総発数102発)	於：福井空港
9月17日	ASK13(JA2256)計測	於：田辺格納庫
9月24日	KSK13(JA2256)耐空検査	於：福井空港
10月18日～28日	東海・関西学生グライダー競技会 団体7位・個人(今宿昇一)7位	於：福井空港
10月29日～11月4日	同志社・立命館グライダー競技会 優勝立命館・個人(今宿昇一)1部3位	於：福井空港
11月26日～12月1日	同志社・愛学・名工合宿(総発数82発)	於：木曾川滑空場

平成10年

2月7日～13日	同志社・関大・関西外語大合宿(総発数134発)	於：木曾川滑空場
----------	-------------------------	----------

資格状況

自家用操縦士	今宿昇一(4年)	板谷真一郎(4年)	小谷名保恵(4年)	田中 亘(3年)
認定ウインチマン	今宿昇一(4年)			

全国学生グライダー選手権結果報告

[団体] 20チーム

1位	慶応大学	7,612点
2位	法政大学	7,013点
3位	早稲田大学	6,288点
<hr/>		
14位	同志社大学	1,241点

[個人] 47名

1位	(法 政)
2位	(早稲田)
3位	(名古屋)
<hr/>	
35位	今宿 昇一(同志社)
36位	小谷名保恵(同志社)
42位	板谷真一郎(同志社)

同志社大学航空部平成9年度会計報告

平成9年1月1日～12月31日

収 入		支 出	
前期繰越金	644,000	資料費：コピー、書籍	173,000
学友会預託金	878,000	機材・機体整備 材料／用具購入	521,000
学外施設補助金	60,000	機材・機体 検査費用	557,000
学外施設援助金	200,000	事 務 費	19,000
OB の寄付	70,000	医 療 費	2,000
交通費補助金	71,000	通信費：電話代、郵送費	81,000
部 費	354,000	新人勧誘費用	33,000
全国大会寄付金	200,000	新同立トレーラー購入折半費用※	350,000
		体育会維持会費	33,000
		学連委員会費	127,000
		全国大会遠征費用	372,000
		滞空検査遠征費	26,000
		三整合宿援助金	40,000
		東海関西援助金	30,000
		交 通 費	169,000
		雑 費	50,000
合 計	2,477,000	合 計	2,583,000

単位千円／千円未満切り捨て

※同立トレーラーの購入費用は、滞納準備金から支出し、平成9年度より毎年7万円ずつ滞納準備金に返済することにした。

資 産

・現 金	174,000
・機体積立金	4,377,000
・滞納準備金	98,000
・OB の滞納	2,657,100

以 上

同志社大学航空部会計 小谷名保恵

編集後記

- 尾田幸雄名誉会長が逝去された。航空部と翔友会は大きな支柱を失った。入院加療中であることは伺っていたが、本号編集の最中に突然の訃報に接し、覚悟が出来ていなかった。お元気な頃は、いつも私達の中心に尾田さんが居た。私がまだ学生だった頃、北浜の会社へ相談事に伺うと、いつも隣の喫茶店へ連れて行って下さり、親身に相談に乗って下さった。

— 巨星墜つ —。月並みではあるが、心から哀悼の意を捧げる。

- 空前の不況である。編集作業を行う時間はいくらでもある。しかし集中出来ないのは、常に頭の中を「売上不振」の現実が占拠しているためであろう。好況の時は、寸暇を惜しんで編集に没頭するので、却って能率が上がる。翔友諸兄も同じ状況か、依頼した原稿がメ切を大幅に過ぎたり、ついに書いて頂けず、急拠ピンチヒッターをお願いしたりで、当初6月発行の予定が、遅れてしまった。理由はどうあれ、編集長の怠慢であり、お詫びする次第である。
- 前号に続いて、本号でも「飛ぶ」ことを再開した翔友の楽しいレポートを掲載することが出来たことは嬉しい限りである。他にもまだ居られることと思うので、是非原稿をお寄せ頂きたい。
- 身近な人であり乍ら、暫く音信が途絶えていて、「どうしているかナー」と思うのはよくあることである。そんな時、風の便りにでも元気な様子が聞けたりすると妙に安心したりする。そんな思いをこめて、先輩後輩の消息欄として「鳥人たちの今」という頁を作った。往復葉書で近況を尋ねることにし、全員回答を頂けるものとの思いこみで、紙面に限りがあるため、毎号20名内外のつもりで本号は18名の方に往復葉書を出したところ、返信のあったのは6名、この数を多いとみるか少ないとみるか意見の分かれるところであろうが、編集子としては、力を入れている割に、翔友は33%の人にしか受け入れられていないのではないかと、不安になったり、反省したりすることしきりである。本誌に対する率直なご意見を是非お聞かせ頂きたい。
- 航空部はこの数年、かつて無い部員減少に悩んでいるし、翔友各位は、一向に回復しない景気の先行きに頭を痛めて居られることと思う。ともあれ、現役部員と、翔友会員の御健斗を祈りつつ本号をお届けする。

翔友 XIII <非売品>

平成10年7月24日 発行

編集 翔友会

発行 同志社大学体育会航空部

印刷 河北印刷株式会社

京都市南区唐橋門脇町28番地
